



村山 雄一 むらやま ゆういち

東京慈恵会医科大学附属病院 脳血管内治療部
(電話) 03-3433-1111 東京都港区西新橋 3-19-18

脳動脈瘤への脳血管内手術

●脳神経外科専門医

得意分野・診療案内

脳動脈瘤に対しては従来からのコイル塞栓術のみならずフローダイバーターと呼ばれる新しい網目の細かなステント留置術など最新の低侵襲治療を手がけております。脳梗塞の原因となる頸動脈狭窄症に対する頸動脈ステント留置術(CAS)、診療部長である村山が開発に携わった脳動静脈奇形に対する液体塞栓物質である Onyx を用いた治療など、国内最大規模総勢7名の脳血管内治療専門医が診療に当たっています。

診療ポリシー・患者さんへのメッセージ

脳血管内手術は血管の中に極微細のカテーテルを頭蓋内血管まで挿入し、レントゲン透視下に血管の内部から脳血管障害(脳卒中)やある種の脳腫瘍等を治療する新しい分野です。従来の開頭方法による手術では治療困難であった様々な疾患が、この方法によって治療可能となってきました。慈恵医大脳血管内治療部では脳血管障害を中心に最先端の診療および研究を行っています。

◇未破裂脳動脈瘤について

脳ドックなどで偶然発見される未破裂脳動脈瘤が増えています。当院では全国から年間 600 ~ 700 例の新規患者さんが紹介受診されますが、最も重要なことは、破裂の危険は個々の動脈瘤によって異なり、動脈瘤の場所や大きさによっては保存的治療でも破裂することなく一生そのままの方が多数いらっしゃる事です。

当院では2013年以降で5,000例以上の未破裂脳動脈瘤を診断しておりますが、さまざまな破裂リスクの評価を行い、実際に治療を行ったのは約30%です。治療の際は患者さんの画像データから実物大動脈瘤モデルを3Dプリンターで作成し、より安全な治療を心がけております。また塞栓コイルやステントなどの医療機器開発も積極的に行っています。破裂のリスクが低いと判断した患者さんは定期検診で経過をみております。当科における破裂のリスク解析研究は海外からも高い評価を得、さまざまな国際研究に参加しております。未破裂脳動脈瘤が発見されて不安を抱えているかたは一度ご相談ください。

脳血管内治療部 脳血管内手術・脳動脈瘤 治療件数 年次推移				
	2014年	2015年	2016年	2017年
手術実績				
脳血管内手術	226	261	247	304
脳動脈瘤	167	164	190	200
開頭クリッピング術	38	43	35	19

脳血管疾患専門セカンドオピニオン外来を当院で実施中
外来予約は、地域連携室(直通) 03-3387-5444 まで

